

BE KOBE BE KEIO

2024 年 8 月 31 日発行

発行人：今泉良太

発行所：〒650-0024 神戸市中央区
海岸通 8 神港ビルヂング 625

TEL：078-393-0050

FAX：078-393-0051

E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp

URL：<http://www.kobekeio.org/>

編集人：鳥巢慶太／天竹清裕

神戸慶應倶楽部 2024 定時総会



5月28日（火）18時30分より、神戸倶楽部にて神戸慶應倶楽部2024年度定時総会及び懇親会が開催され、会員44名の参加により議案は全て承認されました。本年度は2018年から会長を務めていただいた木村健会長が退任され、新たに武市寿一新会長が就任されました。

木村前会長からは退任にあたり、未知のコロナ禍もあったが、大成功を取めた創立100周年記念式典や関西同三田会といった大きなイベントを振り返り、成功裡に終了したことへの感謝の言葉がありました。武市新会長からは、高校からお世話になった慶應義塾、そして神戸の経済に役に立てるように頑張りたいとのご挨拶がありました。

そして幹事長も、きめ細やかな橋本敦子幹事長から元気いっぱいの今泉良太幹事長にバトンタッチして、会長・幹事長ともに新しい体制のスタートとなりました。

懇親会は、浦上評議員の乾杯のご発声で始まり、神戸倶楽部の美味しいお料理とお酒を楽しみながら大変盛り上がりました。そして、最後に恒例の若き血の大合唱、萩原会員の新たなエール交換の後、散会となりました。

坂本憲一郎（平6環）

武市会長 就任挨拶



神戸慶應倶楽部の会長に就任致しました、武市です。

木村前会長におかれましては、6年間の永きに亘り、会長としてご尽力され、とりわけ、神戸慶應倶楽部 100 周年や、神戸で開催された関西合同三田会など、重要なイベントを盛会に導かれる等、大きな功績を残された事に敬意を表したいと思います。大変ご苦労様でした。

その後任として、こうした大役を任された事は、身に余る光栄であり、身が引き締まる思いであります。

神戸慶應倶楽部に加入して、約 10 年が経過しますが、大した貢献も出来ておらず、心苦しく感じていましたので、神戸に少しでも恩返しが出来、良い機会になればと思います。

微力ではありますが、神戸慶應倶楽部の良き伝統を守りつつ、居心地の良い倶楽部運営を心がけて参りたいと思いますので、皆さまのご支援をお願いし、就任の挨拶とさせていただきます。

木村会長 退任挨拶

5 月の定時総会にて、2018 年に堺充廣前会長の後任として、6 年間務めてまいりました会長職を、武市寿一新会長に引き継ぎました。

私自身、慶應義塾中等部に入塾以来、学生として 10 年間、大学卒業以降も現在に至るまで塾員としての恩恵を数多く享受してきましたことから、微力でも、伝統ある神戸慶應倶楽部へのお役立てができればとの思いで、福沢諭吉先生が語った「慶應義塾の目的」、そして「三田会の目的」を基本方針として念頭に置きながら、務めてまいりました。

2018 年会長就任時、2017 年より進めていた神戸慶應倶楽部ホームページリニューアルを完成し、2019 年関西合同三田会神戸大会の基本構想を策定。慶應義塾訪問等々の外部交流を開

始しました。コロナ災禍前の当時は、世の中の動きは活発で、何事も迅速な行動と意思決定が必要でした。2019 年関西合同三田会神戸大会は、「BE KOBE BE KEIO」のテーマのもとご来賓並びに多彩なゲストを交え盛大なイベントとなり、成功裡に終了し、塾、各地三田会から高い評価をいただきました。またこの年は、5 月 1 日元号が「平成」から「令和」となり、即位されました今上天皇は学年次で私と「同期の桜」であり、そして私自身還暦を迎え、個人的に感慨深い年となりました。

2020 年全くの想定外であった「COVID-19」パンデミックに襲われ、社会活動が制限される時代となり、3 月 4 月の例会を中止し評議委員会、定時総会はメールおよび書面による決議としました。福沢諭吉思想のキーワードである「人間交際」は慶應義塾存立の根幹であり、神戸慶應倶楽部にて塾員が自由で活気あふれる交流機会の場となるよう、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用外時期では、リアル例会の開催に努める一方、オンライン例会の開催等、これからの DX 時代には当たり前となる集会手法も試みました。

2022 年コロナ環境下社会に対して、行動規制緩和の流れが広がり、月次例会を年初計画通り開催することができました。この年は、「学問のすゝめ」150 周年であり、福沢先生の著作をおさらいすると同時に翌年の神戸慶應倶楽部 100 周年イベントに向けて、100 年という歴史や伝統の重みを再認識し、これからの展望を一人一人自ら考えてゆける式典となるよう構想しました。

2023 年 8 月全国の地域三田会において横浜、東京に次いで首都圏外三田会では未踏の 100 周年を迎えた、神戸慶應倶楽部創立 100 周年祝賀会は、成功裡に終了、そして慶應義塾塾生への 100 周年祝い寄付金贈呈も完遂し、塾長から祝賀会に関する高評価と謝礼をいただきました。

さらに、慶應義塾高校野球部が夏の甲子園大会で 107 年ぶりの優勝、そして慶應義塾大学野球部が、秋季リーグ戦優勝・明治神宮野球大会優勝と兄弟優勝の快挙を成し遂げました。

自身の母校が甲子園大会優勝など私にとって有り得ないことが起きたこと含め、この年も感慨深い年となりました。

2024 年 7 月に新紙幣が発行され、最高額紙幣の顔であり続けていた福沢先生ご勇退の年となりました。今後も、福沢先生が語った「慶應義塾の目的」、そして「三田会の目的」を考え続け、神戸慶應倶楽部の存在が、「人間交流」の場として会員皆様の誇りであり心の支えとなれますよう、そして三田会の一体感をいつでも身近に感じられますよう、微力ながらも今後の発展に寄与してまいること申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。



今泉幹事長 就任挨拶

定時総会のご承認をいただき、このたび幹事長を拝命いたしました今泉良太(平成10年 経済学部)と申します。4年間幹事長を務められた橋本前幹事長からバトンを受け継ぎ、身の引き締まる思いです。

昨年、当倶楽部は創立100周年という大きな節目を迎えました。この歴史を築いてこられた先輩方に深い感謝の意を表するとともに、その偉業を未来へと繋げていく責任を強く感じております。次の100年も、我々の絆を脈々と受け継ぎ、更なる発展を目指して邁進する所存です。

福沢諭吉先生の教えである「気品の泉源、知徳の模範」を胸に、我々は気品と知性を兼ね備えた模範となるべく努力して参ります。これからも、会員の皆様との連携を深め、地域社会に貢献する活動を積極的に行って参りたいと思っております。

皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、一層のご支援をお願い申し上げます。



橋本幹事長 退任挨拶

2020年、定時総会にて幹事長を拝命してから早4年が経ちました。スタートはコロナ禍で、最初の2年間は例会をご案内するものの、直前まで開催か否か、毎回判断の連続でした。その際には、当時の兵庫県企画県民部災害対策局長 松久士朗氏（会員）から直接情報をいただいたおかげで、常に兵庫県に準じてスピーディに判断することができました。

予定ではここで幹事長退任のはずでしたが、「コロナで何もできなかったね、あと2年ぜひ」という諸先輩方からの言葉と、コロナ禍は未だ収束せず先の見えない状況で、誰に託すことも自分自身憚られ、あと2年間続けさせていただきました。

その後の2年間は、100周年に向けて実行委員会を発足し、中内実行委員長を中心にミーティングを重ね、100周年記念事業を少しずつ形にしていきました。

コロナ禍の後の100周年という気運もあって、様々なことが活性化していき、2023年4月には初の三田での遠征例会を開催しました。演説館の中央に掲げられる、昭和35年に神戸慶應倶楽部が塾に寄贈した福澤先生の肖像画を囲み記念写真を撮ることができたのは良い思い出です。

また、城口副会長が初代世話人となってゴルフ同好会を発足してくださったことにより、濱根杯、慶早戦などのゴルフ行事が活性化し、新規会員の獲得にも繋がっています。

10月例会は、神戸出身、横浜在住の康乗幹事が架け橋となって、インターポート交流をテーマに横浜三田会から講師を招き、同行された横浜三田会の皆様も交えた懇親会となりました。

そして、昨年8月5日 ポートピアホテル「大輪田の間」にて、歌舞伎役者 市川右團次氏（塾員）の祝舞で開会した100周年記念祝賀会については、今もなお当日の臨場感をもって思い起こすことのできる特別な一日となりました。

5月の総会をもって、無事、今泉幹事長（平成10年卒）に引き継ぐことができました。先輩からも後輩からも親われる今泉幹事長により、益々結束力、求心力のある倶楽部となって101年目の新しい一步を力強く踏み出していくことと信じております。

最後に、木村会長には、何においても真っ先に報告し、相談させていただきました。

常に大局的な見地からいただく言葉に方向性を見失わずに進むことができました。心より感謝申し上げます。

副会長の皆様、評議員の皆様には寛容をもって見守りいただきながらも、必要な場面で適切なご指導、ご助言をいただきました。ありがとうございました。

幹事団、100周年実行委員会の皆様には、様々な仕事をお願いしてきました。常に「私でよければ、僕で良ければ」と気持ちよく引き受けていただき、自ら動かれる方ばかりでした。倶楽部が常に安定的に運営されておりますのも、この結束力のある幹事団の力と優秀な事務局 霍見さんのおかげと感じています。心より感謝申し上げます。

そして、会員の皆様方には、いつも倶楽部運営にご協力いただき、多数の例会にご参加いただき、本当にありがとうございました。やはり、一人一人の会員の力が神戸慶應倶楽部の活気の源ということを改めて実感する4年間でした。心より感謝申し上げます。

2024年度幹事団



若手会



2024年6月14日（金）、神戸早稲田倶楽部と神戸慶應倶楽部合同の若手会が開催されました。今年から若手会は岡篤志君（平成23年・商）が世話役となり、新体制でスタートしています。

会場は三宮の地魚大衆酒場・金八、早稲田15名、慶應10名の総勢25名が参加しました。計4卓に早慶関係なしにランダムに着席し、今回の合同若手会の幹事をお務めの神戸早稲田倶楽部メンバー竹田様の乾杯のご挨拶とともにスタートしました。

神戸早稲田倶楽部は若手会の括りがなく、主にミドル世代が中心となり「2金会」という名のもと第2金曜に皆さん集まって宴を開いているとのことでした。この日は早慶とも30、40代のミドルメンバーが比較的多く、初めてお話させて頂く同世代が互いに多くおられました。早稲田・慶應とそれぞれ学び舎は違えど学生時代の話で盛り上がり、「大学受験は●●を受けたが結局▲▲に進学した」「早稲田がラグビー最強世代だった」「就活の時は■■社がものすごく人気だった」等々、早慶OBならでの共通項も多くありました。

今回は、同じ神戸又は神戸近郊に住みご活躍しておられる同世代の方々と交流を深めることができ、私自身もとても新鮮な感覚を覚えました。是非毎年定例のイベントとして、早慶互いに輪を広げる機会となっていくことを願っています。

黒澤 玲央（平成17年商）

3 月例会

平成 22 年卒 児玉秀樹

今回の神戸慶應倶楽部、異人館の立ち並ぶ 山本通りの東天閣さんで行われました。

神戸慶應倶楽部も 100 周年を超えたように、同じくこの東天閣さんも、ドイツ人の異人館で 100 年を超えるの明治時代の建物だそうです。神戸慶應倶楽部も次の 200 周年を目指します。

広瀬先輩から、乾杯のあいさつ。この東天閣の会は、みなさん楽しみにしている人気の会だと思います。たくさんの方が来ていただきありがとうございます。

ビジターより赤間潤志さま（平成元年文学部）

今日はビジターで参加させていただきまして本当にありがとうございます。自宅は横浜です。みなさんと交流できるのを楽しみにしております。

河野先輩より、神戸慶應倶楽部 100 周年にもご協力いただいた、作詞家松本隆さん 松田聖子の赤いスイートピーで有名ですね。松本さんは商学部卒です。神戸にお住まいで、神戸にちなんだ曲を作られたりされています。

この度、トアロードのゲートに石碑ができます。神戸と慶應義塾のつながり、そして福澤先生の関係が書かれる予定です。そして石碑には神戸慶應倶楽部の名前が入りますので、我こそはとおっしゃられる有志の方々、ご協賛よろしくお願い申し上げます。

鳥巢 100 周年記念誌委員長より、いよいよ 100 周年記念誌が完成に近づきました。皆様、最終の校正チェックお願いいたします。また、送料がとてめにかかるので、できるだけ手渡しでお願いできればとの説明に、着払いでもいいんじゃない？の声に爆笑と共に賛同を得ました。

中内さんより締め言葉、東天閣のみなさん、中神先輩ありがとうございます。100 周年を大変盛会にできたことをお礼申し上げます。100 周年記念誌は大きな 100 という文字があります。私からは、101 年目の神戸慶應倶楽部が今後もますます発展を祈念することであいさつとさせていただきます。

最後に、岡君のエールのもと、みなで若き血を大合唱して会は締めくくられました。



4月例会

2024年4月25日、神戸市立中央区文化センターにて4月例会が開催されました。

4月例会では、来年に迫った「2025大阪・関西万博に期待できること」というテーマで、大阪観光局理事長を務められている溝畑宏様にお越しいただき、ご講演いただきました。

溝畑氏は、2030年までに大阪を世界最高水準、アジアNo.1の国際観光文化都市にするという明確な目標をもって、大阪の観光復興を目指してこられました。万博もその1つのステップとして位置づけられています。

万博については、説明責任が果たせていないことについては、至らない点があるとされましたが、参加者と一緒に様々なイベントを開催し、健康長寿など、日本の魅力を発信できるチャンスであるとアピールされました。

ちなみに、溝畑理事長は、久元喜造神戸市長の大学時代からの後輩とのことで、神戸の街へも、大きな期待を寄せていただいております。神戸を中心とした地図を描き、神戸なりの世界一を目指して欲しいとのエールもいただきました。

色々と問題点ばかりが報道される万博ですが、行けば楽しい催しも目白押しようです。万博を盛り上げ、一緒に魅力を発信するチャンスと捉えてみませんか？

日野哲志（平21法科）



大阪観光局がめざす都市像と8つのキーワード

世界が憧れる「住んでよし」「働いてよし」「学んでよし」「訪れてよし」の

世界最高水準、アジアNo.1の国際観光文化都市

「国際観光文化都市」のイメージを表す「8つのキーワード」

- ① 体験・感動**
 - 多様な食事、エンタメ、歴史、文化・芸術、レジャー等が楽しめるアミューズメント都市
 - 様々なプロスポーツ観戦が楽しめる都市
 - 世界中の芸術家等が集まる文化・芸術都市
 - 面白いイベントを行う人が集うイベント都市
 - 世界中の富裕層を楽しませる特別な体験を提供する都市
- ② 元氣・活力**
 - 緑や花がそばにある、抱しのある都市
 - スポーツが盛んで、健康と生きがいを受容できる健康増進都市
 - 世界中から優秀な人材が集まり、事業を起し、雇用と富が生まれるビジネス都市
- ③ 夢・希望**
 - 世界水準のMICE施設を持ち、多数のMICEが開催され、人・モノ・情報が集まり、イノベーションと新しいビジネスが生まれる都市
 - 持続的かつ健全な経済発展があり、多くの人が余暇を楽しめる都市
 - 再チャレンジを受け入れる都市
- ④ 多様性・共生・平等**
 - 様々な価値観を受容し、共存共栄する都市
 - 旅行者、留学生など来訪者を歓迎し、彼らが快適に滞在できる都市
 - 弱者を助け、共に支えあう都市
 - 日本中の各地方都市に遠近し、地方都市とともに栄える都市
- ⑤ 復活・対応力**
 - 困難から迅速に復活し、変化に柔軟に対応する人々が集まる都市
- ⑥ 安全・安心・清潔・防災**
 - 身の危険や感染症のリスクが低く、快適に過ごせる都市
- ⑦ 分散**
 - 特定の時期や場所に集中しない、多様な体験の取り方とコンテンツが享受できる都市
- ⑧ 環境・みどり**
 - ゼロ・ボト社会を実現する都市
 - 地球温暖化の抑制をめざす都市
 - 生態系多様性の維持をめざす都市



6 月例会

今泉幹事長が司会を行い、武市会長があいさつを行いました。まだ会長に就任してまだまだ時間が経っていませんが、先日早稲田の方とお会いした時に、名刺が必要だと思い、あらためて会長という仕事の重責を感じました。



是枝幹事から、澤田先生の紹介を行った。澤田先生は、SFC 1 期生で、是枝幹事と同期である。学生時代は特に神戸というつながりがあったわけではなかったが、今は仲良くさせていだいて。「澤田先生ぜひ神戸慶應倶楽部にご入会ください。」という声が会場からあがり、会場がどっと笑い声が上がった。

澤田雅浩先生のご紹介

SFC 1 期生で、現在は兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授で、新潟県中越地震での長岡の復興などにご活躍されてきた。神戸の復興は、震災後 30 年だけでなく、実は震災の前から色々と計画されてきた。黒地域とは拠点事業地区、灰色地域とは重点復興地域、白地区とは震災復興促進区域と 3 区分に分けて考えた。平時であれば都市計画審議会などの手続きを踏むが、震災 2 か月後から震災復興都市計画決定した。その結果被災者と市との温度差が出た。被害を受けたから都市計画したのではなく、震災復興でやり残した部分が震災で大きな被害が起きた。神戸がずっと抱えていた街づくりの問題が露出した。六甲道は震災復興事業でできなかったことを、震災後区画整理などを震災 1 週間後に決定した。

1980 年は「まちづくり」の始まりの年である。都市計画法が改正され全国一律の原則から地域特性に応じた対応が可能な地区計画制度が導入された。それに先立ち 1978 年、全国ではじめて神戸は都市景観条例を制定し、さらにまちづくり条例が 1981 年に制定されている。工場と住宅が近接しており住環境が悪化している。木造密集住宅、道路が狭隘で救急車が入れないなど、そういったことを住民が将来像を描いて、行政と一緒に考えていく姿が必要である。神戸で行った震災復興が、ほかの地域の災害で生かされている。行政と住民の間を神戸の専門家がつないだ。特に台湾での地震復興の社区総体造営というのに、神戸の経験が生かされた。中越地震では神戸と台湾の教訓をさらに生かした。神戸の教訓としては、復興はプロセスである、その目標に向かうプロセスこそが復興であるといえる。

河野副会長から閉会のあいさつ 神戸市長田区で靴メーカーを経営しております。私はライフワークとして長田を盛り上げていきたいと考えております。と締めくくられた。

平成 22 年卒 児玉秀樹

7 月家族例会

今年の夏の家族例会は「海」で開催！

心地よい風を感じながら明石海峡大橋を遠くに眺められる須磨海水浴場横のテラス BBQ 施設「NORTH SHORE」で7月家族例会を開催しました。お子様連れのご家族参加も多く、参加者は大人 39 名、お子様 15 名の計 54 名、大変賑やかな宴となりました。

今泉幹事長、小嶋副幹事長の進行で会はスタート、まずは武市会長よりご挨拶を頂きました。会長ご出身の逗子の海のお話も伺いながら、我々も眼下広がるビーチと多数のヨットを前に、思い思いの夏の思い出を振り返る機会ともなりました。その後、中内副会長に乾杯のご発声を頂きました。

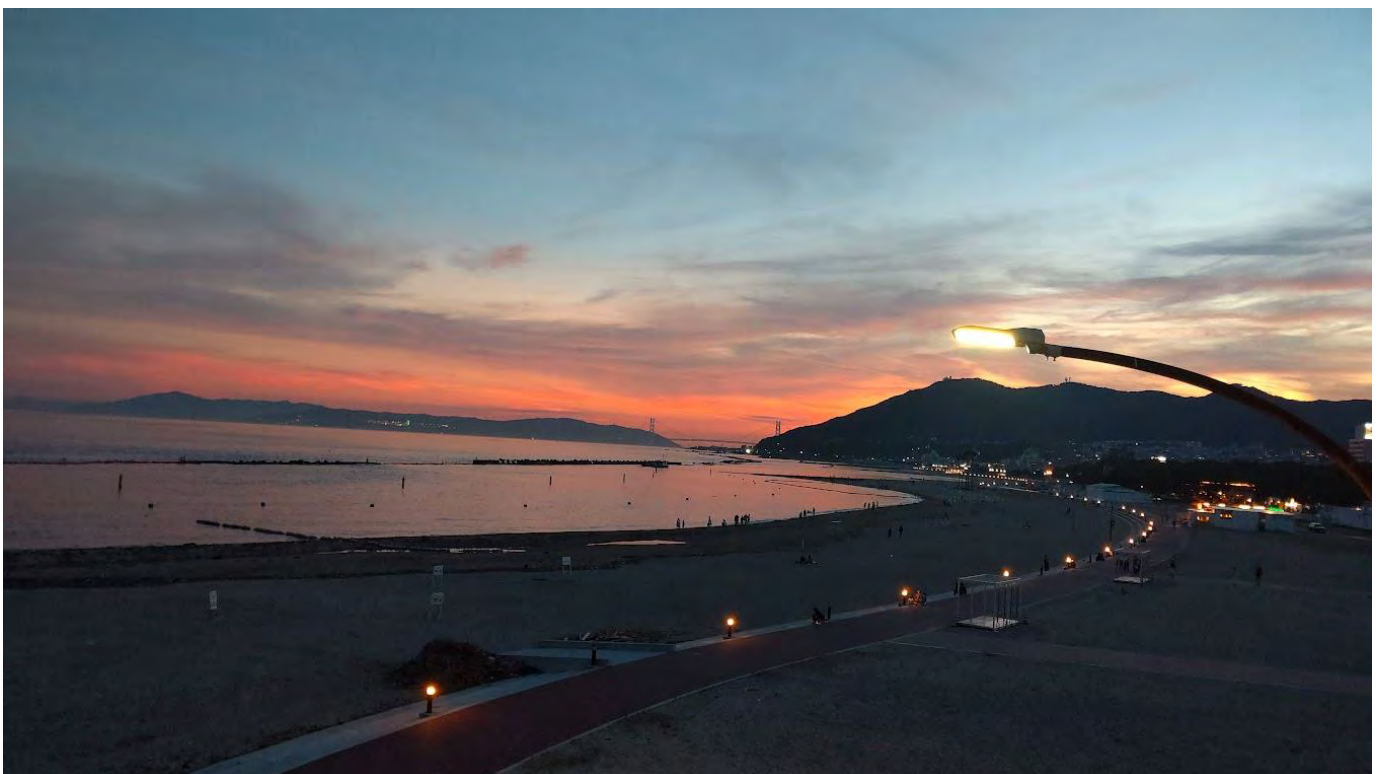
ドリンクはカウンターの店舗スタッフから各自適宜受取り、焼き物は主にヤング&ミドル世代メンバーが担当。店舗スタッフの方々の手慣れたドリンク対応やふるまわれたお肉のボリュームからも、50 名以上参加の大所帯とはなりましたが、飲み物も食べ物もそれほど滞ることなくスムーズに皆さん召し上がって頂けたのではと思います。

今回は新入会・初参加の安部佑樹さん（平成 20 年・文）よりご挨拶を頂きました。また、家族例会恒例のビンゴゲームは、夏休みに入ったばかりで元気に溢れるお子様方のお楽しみイベントとして実施。ビンゴ第 1 号の声をあげた子は、夏らしい「流しそうめんセット」をゲットしました。この日は 21 時までは会場横のビーチで花火も可能とのこと。20 時の閉会を前に最後に土井副会長に締めのご挨拶を頂き、その後姜さん（平成 30 年・経）のエールのもと「若き血」を歌い、例会は盛況のうちに終了。BBQ 会場をあとにし、参加した子ども達には会場横の砂浜で花火を少しの時間楽しんでもらいました。

今回、神戸の自然を感じることができる「海」での開催は新鮮でした。参加されたご家族の皆様も大変良い思い出になったのではと思います。

次は、山上からの景観とともに神戸を感じる「山」開催もよいですね。

黒澤 玲央（平成 17 年・商）







慶早ゴルフ

2024年5月21日、恒例の慶早ゴルフコンペが東廣野ゴルフ倶楽部にて開催されました。総勢24名（慶應15名、早稲田9名）の参加者が、最高のゴルフ日和の中、厳しいセッティングの東廣野に挑みました。10.6ftという高速グリーンに私などは全くタッチが合いませんでした・・・。

結果は、個人戦での優勝は堺元会長となりました。ホームコースでの優勝おめでとうございます。チーム戦も今回は慶應が勝利することができましたが、ベスグロは早稲田の安西先輩がダントツの81でした。安西先輩に立ち向かえるのは、最終ホールでイーグルを奪取した天竹先輩以外には考えられません。

次回は11月ころ、早稲田主催で開催予定です。奮ってご参加ください。



同好会だより

《ゴルフ同好会》

3月22日、神戸慶應倶楽部創立100周年記念シリーズの最終戦を飾るゴルフ同好会のコンペが、堺充廣先輩のホームコースである東広野ゴルフ倶楽部で開催されました。

ここ数日の寒の戻りに心配もありましたが、当日は青空が広がり春の足音を感じさせる素晴らしい天候に恵まれ、10名の参加者の元、熱戦が繰り広げられました。

池に囲まれたショートホールや多くのバンカーが立ちはだかる難しく戦略性に富むコースの洗礼を受けながらも、楽しい時間を過ごしました。

ゴルフの難しさを感じつつ、フットワーク軽やかな素晴らしいキャデーさんにも助けられ、和やかな雰囲気の中18コースを駆け抜けました。

プレイ後はコンペルームにてご用意いただいたスイーツを楽しみながら、本日のコンペの1日を振り返りながら、表彰式が行われました。

Wペリア方式で、映えある優勝は田中圭さん。去年は怪我で少しプレイを中断されていましたが、見事な復活優勝です。同組で見せていただいたショートのバーディも見事でした。おめでとうございます。準優勝は天竹清裕さん、第3位は安井明子さんでした。

若者の目を見張る躍進もあり、今後益々のクラブの発展が楽しみです。我ら年長者も痛み出した老体と友達になりながら、頑張りたいと思います。

年齢を超え同窓の仲間とスポーツを通しての交流は、何よりの宝物と言えると改めて感じさせられた1日でした。

今中かな子(昭55年・文)



《イーゼル会》



＜今月の絵＞（五代 友和 顧問／S37 商）

会員だより

《新入会の挨拶》 竹間 晋太郎 (平 13・文)

はじめまして！

平成 13 年文学部卒の竹間と申します。私はジョーンズ ラング ラサール(JLL)という米国本社不動産会社でオフィス・物流施設の運営管理に携わっており、関西不動産三田会にも参加しております。西宮市に妻と子供 3 人と在住し、勤務地は大阪ですが、神戸には業務上もプライベートでも訪れる機会が多く親しみがあり、本会に入会させて頂きました。



在学中は“K.M.P.ニューサウンドオーケストラ”というジャズのビッグバンドでベースを担当しておりました。 (左から 3 人目)

大学 3・4 年時には山野ビッグバンドジャズコンテストという全国大会で 2 年連続入賞する事ができ、優れた仲間恵まれ良い時間を過ごせたと思います。

また、専攻は哲学でしたが、哲学の「自由に発想し、徹底的に考える」という姿勢が、いま働いている外資系企業の自由な環境と思想に合っている様に感じ、いまある自分は正に大学生活のおかげかなと思っています。皆様今後ともよろしくお願いいたします！

《新入会の挨拶》 笠原 秀介 (平 3・理工)

本年 5 月に森本泰暢先輩のご紹介で入会させて頂きました笠原秀介です。

平成 3 年理工学部管理工学科卒(塾高 38 期)で、4 月に東京海上日動火災保険の兵庫本部に赴任しました。人生で東京を離れて生活するのは、若い頃の宮崎市、前任地の仙台市に続き 3 度目。趣味の単車(900cc)や少林寺拳法は腰痛の為、3 月より休業中ですが、初めての関西で美食や温泉巡り等、沢山の思い出を作りたいと考えています。年齢 50 半ばにして、サラリーマン生活は仕舞支度が近づく中、会社の名刺によらない人々とお付き合いを大切にしたいと黙考する今日この頃です。仕事を離れ、神戸慶應倶楽部の方々と親睦の機会を持てることは大変有難く、何はともあれ健康第一に神戸での生活を楽しまたいと思います。皆さま、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



《新入会の挨拶》 安部 佑樹 (平 20・文)

2008 年文学部人文社会科学学科図書館・情報学専攻卒業の安部佑樹と申します。

日本製鉄の子会社である日鉄ケミカル&マテリアルという会社で数年間、経理や税務・内部監査などの仕事に従事したのち、地元である神戸に帰ってまいりました。現在は父が創業したハーバー税理士法人で副所長を務めつつ、西宮北口に居を構えております。

大学のときはバックパッキングクラブという登山サークルの幽霊部員をしながら、税理士の勉強に励んでおりました。高校まではあまり周囲になじめないまま過ごしてきたのですが、入塾するとどこことなく自分と似たような（どこかこじらせた）人たちが沢山いて、居心地の良さを感じたのを覚えています。

神戸に帰ってきたのはコロナ禍の真っ只中で、それが終わったと思ったら今度は育児に忙殺されてあまり神戸のお店を開拓できずにいたので色々教えていただけると嬉しいです！



《新入会の挨拶》 坂本 和也 (令 5・経)



神戸慶應倶楽部会員の皆様、この度ご縁あって入会させていただくことになりました坂本和也と申します。宜しくお願い致します。私は、2023 年の 9 月に経済学部通信教育課程を卒業いたしました。パンデミックという異常事態において学習以外の様々な制約によって予定よりも一年半卒業が遅くなってしまいましたが、それも含め貴重な学生生活を送れました。振り返ってみると学び直しの大学生活は思った以上に大変でしたが、楽しかったです。住まいは大阪府東大阪市です。趣味は、ゴルフと旅行です。ゴルフは塾生期間は一時休止致しておりましたが、卒業を機に再開いたしました。腕前は全然ですが、

活動が盛んなゴルフ同好会に参加させて頂きながら腕前の上達と会員の皆様との交流ができたらと考えております。皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

《新入会の挨拶》 澤田 雅浩 (平 12・政メ博)

このたび、伝統ある神戸慶應倶楽部に入会を認めていただきました、澤田雅浩です。

1990 年に湘南藤沢キャンパスの環境情報学部一期生として入学し、その後、大学院政策・メディア研究科の修士課程・博士課程と 10 年間、塾生生活を送りました。修士 1 年生のときに発生した阪神・淡路大震災が大きな契機となり、都市計画の中でも災害復興計画を専門として現在に至ります。2000 年から 2017 年までは新潟県長岡市に暮らしておりましたが、その後、HAT 神戸に立地する人と防災未来センター内に設置された兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科に異動し、神戸で暮らすこととなりました。山あり海あり、そして港町としての風情があるこの街での生活を満喫するはずが、コロナ禍の影響でなかなかそうもいきませんでした。ようやく本格的にいろいろ活動できそうです。そんな折に多くの塾員の皆さまと交流できる場に加わることができたことは大きな喜びです。どうぞよろしくお願い致します。

新紙幣発行雑感

塚本明久（平9 総）

2024年7月3日に、新紙幣の発行が開始されることになり、約40年間流通し、親しまれてきた福澤先生肖像画一万円紙幣が姿を消す日も近くなってきた。

新しい一万円札には日本近代社会の創造者として知られる「渋沢栄一」、新しい五千円札には女性の地位向上と女子高等教育に尽力した「津田梅子」、新しい千円札には近代日本医学の父とされる「北里柴三郎」の肖像が採用されている。

すでに政府は2019年、偽造抵抗強化等を理由に一万円・五千円・千円の新紙幣の発行を発表していた。長らく一万円札の「顔」であった福澤先生。福澤先生肖像画紙幣が初めて発行されたのは1984年11月。それまで紙幣の肖像は政治的な偉人が主として登場していた。しかし政治は歴史的な評価が分かれるとの理由で、1984年からは明治以降の文化人が選ばれている。ここで福澤先生を含む3名が肖像に選ばれた。

その後2004年、千円札は〈夏目漱石→野口英世〉、五千円札は〈新渡戸稲造→樋口一葉〉と肖像が入れ替わったが、福澤先生だけは続投となった。約20年ごとに変更される紙幣肖像。なぜ福澤先生だけが続投の理由として公式発表では、偽造防止技術の導入を急ぐ必要があり、全紙幣の肖像を入れ替えるには時間がかかりすぎること等だった。

さて新紙幣の刷新で福澤先生の肖像は交代するが、新千円札の肖像に選ばれた北里柴三郎も福澤先生また慶應義塾とつながりを持つ人物でもある。北里柴三郎と福澤先生は深い親交を持ち、北里柴三郎に私財を投じ、伝染病の研究所を設立させ、その後、慶應義塾大学初代医学部長は北里柴三郎が就任しているのである。

今に続く慶應義塾大学医学部の活躍はご存じのとおり。北里柴三郎氏と福澤先生の新旧紙幣肖像の二人の関係は、慶應義塾を介して令和の時代に引き継がれている。なお、旧1万円札の最終製造券は、植田和男日銀総裁から伊藤公平塾長に手渡された。



トアロードプロジェクト

～トアロードシンボルアーチ補修に神戸慶應倶楽部有志が協賛～

橋本敦子（平1文）

5月6日 「トアロードのシンボルアーチ補修」に神戸慶應倶楽部有志が協賛

旧居留地（海側）と北野の邸宅エリア（山側）を結ぶ南北1kmのショッピングロード、「トアロード」。そのシンボルアーチが設置以来約40年ぶりに改修され、その改修に神戸慶應倶楽部会員有志が協賛しました。昨年8月5日の100周年記念祝賀会にビデオメッセージにて出演くださった作詞家の松本 隆先生（特選塾員）とのご縁に因るものでした。松本先生は東京生まれの東京育ちながら、東日本震災後、神戸（生田新道）に居を移されました。坂道、風、光、・・・先生は神戸の中でもとりわけ気に入られているトアロードに因んだ詩を作られました。また、いくつかのお気に入りの店に立ち寄られる中で、トアロードのアーチの老朽化について相談を受けられていたようです。

そして、松本先生に協力を求められた河野副会長は東天閣の3月例会にて、当日出席していた会員に援助を呼びかけました。塾福澤研究センター都倉准教授の例会講和にも登場した「福澤諭吉翁とトアロード」の繋がりもあることから、

賛同者は次々に名乗りを上げ、あっという間に予定の寄付額が集まったのも神戸慶應倶楽部会員の神戸愛、慶應愛を表すものでした。

6月5日ついにリニューアルされたアーチがお披露目されました。鏡張りの光輝くアーチには、松本先生が作られた「トアロードの晴れ娘」の歌詞の一部とともに、ペンマークと神戸慶應倶楽部の名が刻まれていました。当日は、まず、松本隆先生がアーチの前で多くのメディアの取材を受け、その後、近くのライブハウスにて完成記念イベントが開催されました。招待チケットが配られた今回の会員協賛者の多くも会場に足を運びました。前半は松本 隆先生のトークショー、ここではスライドによるトアロードの歴史の振り返りとともに、「トアロードと生田新道が交差する角です。現在はりんごスイーツ専門店ですね」と、福澤先生がトアロードに土地を所有していたエピソードも披露されました。

後半は神戸にちなんだアーティストが集い、「赤いスイートピー」「セプテンバー」などなど数々のヒット曲が演奏されました。どの曲も全て口ずさめることに改めて松本先生の偉大さを感じる瞬間でした。最後はいよいよ「トアロードの晴れ娘」作曲、鈴木茂氏（はっぴいえんど）を出演者全員で合唱です。

100周年を機に、福澤研究センター 都倉准教授に「福澤諭吉と神戸」の繋がりを紐解いていただきましたが、松本 隆先生とのご縁をいただいたことで、福澤先生と神戸のつながりは、塾内に留まらず広がりを見せることになりました。





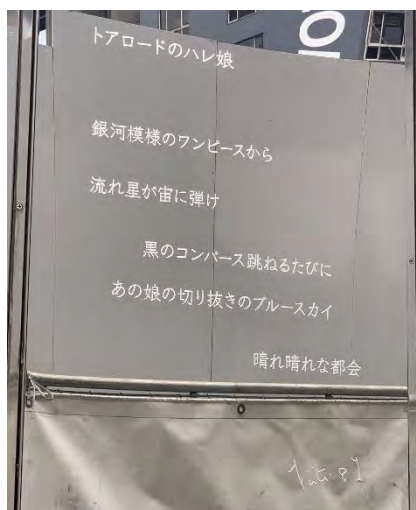
トアロードのハレ娘
 トーク&ライブ with 松本 隆

2024.5.6(月/祝) 開場 14:30
 開演 15:00

会場 | VARIT. 神戸市中央区下山手通2-13-3, 8F

チケット | 1階席 6,000円 2階席 4,000円 (税込)
 自由席・別途1ドリンク(800円)必要、未就学児童は入場不可
 チケット一般発売日: 3月16日(土)
 チケット発売: イープラス <https://eplus.jp/> [Qコードで申し込む](https://qrcode-eplus.jp/)

問い合わせ | VARIT. 078-392-8655 (平日 13:00-18:00)
 主催 | トアロード中央委員会・後援費組合
 協賛 | 神戸慶應倶楽部



今後の予定

●9 月例会

日 時：9 月 5 日（木）18 時 30 分～（受付開始：18 時 00 分）

場 所：神戸市立中央区文化センター 11F「会議室 1111」

<https://www.kobe-bunka.jp/facilities/chuo/>

講 師：関野 博和会員（昭 54・商）

会 費：2,000 円（ビジター+1,000 円）

※倶楽部ルームから離れているため、お茶のご用意がありません。

お飲み物は、施設 10F にある自販機をご利用くださいますよう、
お願いいたします。当日、現金にてお支払いください。

テーマ：『ひょうごのお城について』

●10 月例会－横浜開催

日 時：10 月 17 日（木）19 時～（受付開始：18 時 30 分～）

場 所：ホテル ニューグランド

神奈川県横浜市中区山下町 10 番地

<https://www.hotel-newgrand.co.jp/>

会 費：15, 000 円（ビジター+1,000 円）

内 容：インターポート交流会 in 横浜

地域三田会最古の横浜三田会と、二番目の神戸慶應倶楽部との交流会です。

来年以降も交流会を開催予定ですので、各年代の方々と懇親をじっくり深めて、
楽しくやりましょう！！楽しいオプションツアーも企画しています！！

・オプション：三溪園ツアー（17 日例会前）

・オプション：崎陽軒工場見学ツアー（18 日昼頃）※両オプション選択可

●関西合同三田会 2024 in 南紀白浜

日 時：11 月 9 日（土）11 時 15 分～15 時 00 分（受付開始：10 時 30 分）

場 所：白浜キーテラス ホテルシーモア

【式典・講演会】11 時 15 分～

【懇親会】13 時 15 分～15 時 00 分

エクスカージョン：南紀白浜アドベンチャーワールド サンセットツアー（貸切）

17 時 00 分～18：30 分（予定）

※事前申し込みが必要です。

会 費：【大会】大人 12,000 円(中学生以上)/小人 6,000 円(小学生以上)/幼児無料
【エクスカーション】一名様 2,000 円

◆お申し込み方法

- (1) 参加ご希望の方は、【氏名・卒年・学部・同伴者氏名（お子様は年齢も）】
【エクスカーション参加の有無】を事務局までお知らせください。

なお、ご同伴者が塾員の場合は卒年学部も記載願います。

- (2) 会費合計額を、以下までお振り込みください。

【振込先】

三井住友銀行 神戸営業部

普通預金：1103257

神戸慶應倶楽部

※振込手数料はご負担ください。

●締切（申込・振込共に） 9 月 27 日（金）

●慶早ゴルフコンペ

日 時：11 月 12 日（火）

場 所：三甲ゴルフ倶楽部ジャパンコース（旧ジャパンメモリアルゴルフクラブ）

TEL: 0794-77-3535 〒673-1102 兵庫県三木市吉川町富岡 933-27

<https://sanko-golf.co.jp/>

スタート：9:04 OUT・IN 同時スタート（OUT5 組、IN4 組 合計 9 組 36 名迄）

プレー費：18,000 円（税込、キャディ付き）＜各自払い＞

※一組 3 人の場合、1 人につき 1,100 円割り増し。

会 費：5,000 円（プレー終了後の会食及び賞品代）＜当日徴収＞

締 切：10 月 17 日（木）

☆参加ご希望の方は、氏名・卒年・学部・ハンディキャップをご記入のうえ、
事務局までご連絡ください。参加者には後日組み分けをご連絡いたします。

編集後記

昨年、大盛況だった神戸慶應倶楽部 100 周年記念祝賀会、

今年はずいに、100 周年記念誌が完成しました。

皆様、お手元には届きましたでしょうか。

私を含めた記念誌委員会と、多数の幹事団とで、力を合わせて作った力作です。

100 周年記念誌で、神戸慶應倶楽部 100 年を振り返りつつ、

200 周年に向けて、みんなで盛り上げていきましょう！！

（BRB 編集長 鳥巢慶太）